

まさよし通信

MASAYOSHI NEWSPAPER
No.17 2023

発行 鶴岡市議会議員
本間 正芳 [新政クラブ]

議員活動報告



9月議会 一般質問

中学校部活動休日の地域移行について

本間 スポーツ庁と文化庁から出された地域移行に関する検討の意義について、どのように捉えているのか。また、考える改革の方向性、課題や検討委員会、学校の捉え方や立ち位置について、改革の課題や問題、指導者の確保や報酬の問題、生徒の移動のことなども踏まえて、鶴岡市が進めている具体的な方策について伺います。

教育長 深刻な少子化が進行しており、部員が集まらない、日頃の練習すらままならない状況です。休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築し、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域へ移行していく方向で、各校関係機関等に働きかけています。

検討委員会からは、学校教員は休日の活動を行わないこと。今年度中に検討することを提言いただいています。学校の立ち位置については、藤島地域では、総合型地域スポーツクラブに加入。楡引地域は、スポーツ少年団。朝日地域は、総合型地域スポーツクラブとスポーツ少年団のどちらかに加入して活動していますが、地域によっては受皿指導者が見つからず、地域移行が難しい状況もあり、地域の実態に応じた対応が必要だと考えています。具体的には、5のパターンを想定しており、総合型地域クラブ、スポーツ少年団、保艘者会クラブ、民間クラブ、合同部活動。移動に係る経費や、手段、指導者の確保や報酬の問題については、国の方針も踏まえ指導者には適切な対価が支払われることが望ましく、生徒の移動の問題も国や県の動きを注視しながら

検討するなど、支援の在り方等については、慎重な検討を重ねていくことが重要であると考えています。

本間 存在が当たり前の中学校部活動ですが、考え方を切り替えなくてはならないと感じています。今が日本の教育の歴史の中で大きな転換点であり、鶴岡には鶴岡に合った進め方で、進めていただきたいと思います。



その後について 14

人工芝グラウンド

ついに動き出した! 鶴岡市人工芝サッカーグラウンド

待ち望んでいた鶴岡市人工芝サッカー場整備がついに動き出しました。

私が議員になるきっかけでもあり、公約の1番にも掲げています。やりましたあ!

旧鶴岡病院の解体と跡地利用での話が進み、実現へ向けて進むことになったのですが、この場所へのサッカースタジアム建設については、もう何年も前から重要事業要望になっていたのです。形は多少違いますが、実

現の運びになったことは評価したいとおもいます。

今年度に基本計画を策定し、解体工事が令和8年初めまでかかり、その後、人工芝サッカー場施設整備工事に入るのが、今のところの素案です。

県と市当局が応分の負担をするという事や予算については、まだ問題が残りますが、ここまで頑張ったのだから、良いものができるように、もう少し頑張りたいです。

本間まさよしの一般質問の録画映像を、右のQRコードからご覧いただけます。

鶴岡市議会では本会議の録画データ配信を行っております。

YouTube (ユーチューブ) を利用して配信しております。録画中継の公開期間は1年間とさせていただきます。



小中一貫教育について

本間 鶴岡型小中一貫教育のポイントについて、ブロック研修との考え方の違いと、小中一貫校の構想及び、小中一貫教育以外の方策はないのか伺います。

教育長 ポイントは、小中連携教育をさらに充実、進化させ、義務教育9年間を見通しての目標だと考えています。まずは既存の11中学校ブロックで進め、小中一貫教育のよりよい形態を検討していく考えです。

これまでは同じブロック内であっても、目指す子供像や教育課程は、それぞれ別々に作成し実践しており、体系的な教育が難しい状態でした。小中一貫教育では、目指す子供像を共有し、9年間を通じた体系的な教育課程の中で、各ブロックの実情に応じて一貫教育を進めてまいります。一律に小中一貫校を設置するのではなく、地域に応じた小中一貫教育のよりよい形態を検討していく考えです。

本間 コミュニティスクールの構想と否定的だった中学校について伺います。

教育長 小中一貫校をどの中学校区に設置するのかは、現段階では何も想定はしておりませんが、藤島中学校の

校舎老朽化による改築が迫っている状況を踏まえ、藤島地域教育振興会議の設置が決められました。

本間 例えば豊浦小と豊浦中や、朝日小と朝日中などと、具体的な構想がなければ、小中一貫教育の構想が出てこないと思います。

最初は校長の人数も多人数となり、考え方を一致させるにも時間がかかると思います。会議等の時間の保障だけでも、かなり難しいのではないかと思います。これ以上の学校統廃合をなくす意味でも、小中一貫校や義務教育学校、そのほかの制度をうまく使っていくことが大事だと思います。そのためには、鶴岡市という地域の教育デザインをきちんと構築することが大事だと考えております。

12月議会 一般質問

老朽化した学童保育所改築の進捗状況について

本間 令和元年6月議会から4回質問しておりますが、その後、市教育委員会との話し合いや、他の部署と連携できているのでしょうか。今後の進め方について伺います。

健康福祉部長 現在の敷地は接道要

件を満たしていないため、建築基準法上、新たに建物を整備することができないため、市教育委員会を含め検討を進めているところです。

定員の超過、施設の老朽化、狭隘化も課題であり、できるだけ早く整備手法を絞り込みたいと考えています。

本間 2年前も早急な整備が求められる状況と言っておりました。ずっと同じ状況で全然進んでいません。再度伺います。

健康福祉部長 市教育委員会も含め庁内担当部署と引き続き詰めを行っており、できるだけその成果を出せるようにしたいと思います。

本間 市長、市の将来的な教育構想を本気で考えないと、鶴岡市の教育は世の中に置いていかれると思います。陳情に左右されることなく、教育構想、教育デザインを早急に進めることを願っております。



その他、以下事項について質問しました。

▶ 学校の適正配置について

▶ 教職員の働き方改革について

▶ 中学校部活動改革について

第3学区 学童保育施設も改築成る

第3学区の学童保育所の老朽化に伴い、改築の願いを依頼されておりました。これについても私が市議会一般質問で何度となくお願いをしてきましたが、第3小学校の隣接地に用地を取得し、建設を進めることになりました。詳細については後日報道されると思いますが、子どもたちの喜ぶ姿が見えてくるようです。

鶴岡市の現行中学生までの医療費無償化



今年7月以降

18歳まで拡大(医療費無償化)

これについては、2022年の3月議会で総括質問し、今回実現しました。

ほん ま さ よ し

本間正芳 プロフィール

昭和31年生まれ/昭和44年 鶴岡市立朝陽第三小学校卒業/昭和47年 鶴岡市立鶴岡第二中学校卒業/昭和50年 山形県立鶴岡工業高等学校卒業/昭和55年 早稲田大学教育学部体育学専修卒業/昭和58年 山形県公立学校教諭(小名部小→朝三小→鶴岡市教育委員会→朝二小→黄金小教頭→大綱小校長→朝日小校長→羽黒二小校長)/平成29年 鶴岡市立朝陽第四小学校 校長で退職/平成29年 鶴岡市議会議員選挙初当選(現在2期目)/平成31年 鶴岡地区サッカー協会副会長
【議会での主な役職】▶市民文教常任委員会副委員長 ▶広報広聴委員会委員長 ▶人口減少・地域活性化対策特別委員